## 372/2



発行 | 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会 TEL.0267-56-1825 有線4091 FAX.0267-56-3815

### 于し柿作りました!

今年も「ただいま」 恒例の干し柿作 りをする事ができました。 出来上がりは 12 月中旬頃です。 よろしければ、味見にお立ち寄り ください。お待ちしております。

 $\oplus$ 

н

今月の記事	
●たてしなふれ愛園だより	2.3
●佐久地区ボラフォーラム・立科町地域活動支援センターだより	4
●町の茶の間ただいまだより・頭の体操	5
●立科町遺族会・立科町地域の活動紹介	6
●社会福祉協議会からのお知らせ	7
●たてしな福祉かるた・職員募集のお知らせ	8
「愛ちゃん」の発行には 「赤い羽根共同募金」の配分金が使われています。	

収穫したブドウは、ワインに加工されます。その集大成として、10月20日はブドウの収穫作業で汗を流しました。その集大成として、10月20日はブドウの収穫作業で汗を流しました。

美味しいワインになるように願っています。

で見な

食として、暖かく味を感じられるのでありがたい商品 なります。炊き込み五目御飯のようで、 けて15分程待ちます。そうすると、食べられる状態に た。皆さんの姿から、真剣さを感じました。 います。訓練後は火災時の防災DVD鑑賞をしまし 訓練から少しでも命を守る行動をとれるように学んで 判断ができなくなることもあるかと思いますが、この れた出入口から外に避難することができていました。 机の下に潜りました。その後、キッチンから出火 て訓練をしました。 火事につながった場合を想定し は地震から身を守る事、その後 に2回おこなっています。今回 だと感じました。 たお米を大きなビニール袋に入れ、その中にお湯をか アルファ米といいます。フリーズドライの味付けされ 「火事だ!」と声が聞こえ、皆さん焦らず火元から離 最後に、避難所等で食べる非常食を試食しました。 実際、本当に地震や火事になってしまうと、冷静な 職員の「地震だ!」の声に、 ふれ愛園では、 防災訓練を年 40 ~~~~ 治ち着いて行動しよう-災害時の非常 アルファ米で非常食作り 皆さん真剣に取り組みました。

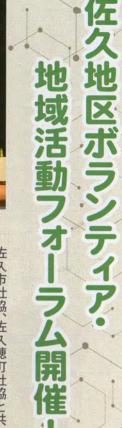
## 権現山運動場で マレットゴルフ!

### カルチャーメニュー (余暇活動支援)

利用者の皆さんは毎日頑張ってお仕事をしています。 その中で、少しでも楽しい時間を作り日々の意欲につな がるように、気分転換になればと始めた企画です。

カルチャーメニューの中から、皆さんに取り組んでみ たいメニューを選択していただいています。

利用者さんの意志を尊重し、自己決定できる 機会の提供を大切にしています。 秋晴れの10月27日、 この日のカルチャーメニューは マレットゴルフ!気持ちの良い自然の中、 マレットゴルフを楽しみました。 最初はなかなかうまく飛ばせなかったのですが、 慣れてくるとゴールホールに近いところを狙う ことができました。打ち数が少なくチップイン できた時は、思わず「入ったー!」と歓声! 参加した皆さんが笑顔になり 楽しい1日となりました。





社協がパネリストとして参加しました 開催でしたが、乙女の文化センターには の午後、小諸市で開催されました ア・地域活動フォーラムは、11月7日(土) 大勢の参加者が席を埋めていました したパネルディスカッションに、立科町 「台風19号災害を振り返って」をテーマと コロナ禍に在って参集者も制限しての

> 襲った台風であり、初めての災害ボラン というものでした。 ボランティア(災ボラ)活動について発表 佐久市社協、佐久穂町社協と共に、災害 ティアセンター立ち上げまでの経過発表 し、コーディネーターの県社協がまとめる 「災害の無い佐久地区」というイメージを

# 地域の連携が何より重要

には、参加者も痛みを共有できました。

fe a

げるに至った点でした ボランティアセンターをいち早く立ち上 に埋まった数軒を目の当たりにし、災害 世帯を訪問している途中で、大量の土砂 は、たまたま職員が台風の影響が心配な 他の2地区になかったことは、立科町

地域との連携を深める事が重要である と締めくくられました 最後に、災害に対する不断の緊張感と

地域活動支援セ

第36回を迎えた佐久地区ボランティ



古園と動物愛護セ 感染予防対策をとり、出かけました。

> 動物とふれ合いました。 消毒し、密にならないよう一人ずつ える時間が設けられています。手指を は、保護されている動物たちとふれ合 懐古園では紅葉が見ごろを迎え 絶好のお出かけ日和となりました。 大勢の人が散策されていました。 動物愛護センター(ハローアニマル)で 1月14日(土)、この日は陽気もよく



楽しくお散歩してきました。

保護された動物についての館内展示



みながら園内を散策



利用対象者は、町内に住所を有 障がいのある18歳以上の方 随時、見学など受け付け おりますので、気になった方は、下 記までご連絡ください。

立科町地域活動支援センター連絡先

■たてしなふれ愛園 電話:56-3721 有線:4321 立科町社会福祉協議会

有線:4091 電話:56-1825





### 立科町社会福祉協議会からのお知らせ

#### <sup>令和2年度</sup> 赤い羽根共同募金結果速報

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が スタートし、町内各世帯や企業、学校、職場の皆様に、募 金活動への深いご理解とご協力をいただいておりますこと に厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた募金は、立科町で暮らしている子ども からお年寄り、障がいのある人、課題を抱える人、ボラン ティア活動を行う人のために役立てられています。また、 一部は県内の福祉施設や福祉団体、NPO法人、ボラン ティア団体、災害時の積立金などに使われます。

募金総額 1,827,282P <sup>(令和</sup>	<b>1,916件</b> 2年12月4日時点)	
戸別募金(町内各世帯)	1,226,927円	1,809件
法人募金(町内外企業)	476,938円	90社 2
学校募金(町内児童生	徒) 25,109円	3校
職域募金(町内関係事	業所) 82,184円	10事業所
その他の募金(募金)	暗など) 16,124円	4件
<u> </u>	UN	



お問合せ 社会福祉法人立科町社会福祉協議会 北佐久郡立科町芦田2523 (TEL) 0267-56-1825 (有線) 4091

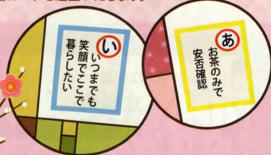


### みんなでつくる! 「たってしたううううう」 読み札大募集!

立科町社会福祉協議会では、いつまでも住み慣れた地域に笑顔で暮らし 続けられる町づくりを推進するために「たてしな福祉かるた」を制作します。 そこでコロナ禍で集まることが難しい状況であっても、町民の皆さんと一緒 に地域づくりを考えるために、読み札を募集します。テーマは「福祉」「地域づ くり」「支え合い」に関することならなんでもOKです。ぜひ、ふるってご応募くだ さい。採用された方には、図書カードを進呈いたします。

募集期限:令和3年2月5日(金)まで 募集内容:「あ」~「わ」までの読み札

必要事項(氏名、住所、電話番号を記入し、「FAX」または「郵便はがき」でご応募ください。
【宛先】〒384-2305北佐久郡立科町芦田2523 ・
立科町社会福祉協議会 FAX.0267-56-3815



お問合せ:立科町社会福祉協議会 TEL0267-56-1825

